

ターゲット英文の理解チェック		教科書本文などのターゲット英文の理解を確認・促進するために、生徒に読解発問を提示したり、生徒からの回答に対応したりする活動	
	英語の正確さ	語り（読解発問の提示）の工夫	生徒からの回答への対応
4	正確な英語（発音・語彙・文法）を用いて、読解発問の提示、正解の提示、生徒からの回答への対応ができています。	生徒の理解状況の把握に基づき、即興で新たな読解発問を作り、生徒が理解できるような形で提示することができている。	必要に応じて、生徒からの回答に関連づけて、ターゲット英文の理解をより確かにするような追加の解説を英語で行っている。
3	読解発問や正解を提示するときだけでなく、生徒からの回答へ即興で対応する場合にも、ほぼ正確な英語（発音・語彙・文法）が用いられている。	生徒が質問をうまく理解できなかったと判断した場合は、読解発問の言い換え（e.g. wh疑問文→yes/no疑問文、簡単な語句へのパラフレーズ）やヒント提示などを行っている。	(1) 生徒からの回答に文法的な誤りがあったり、それが内容的に分かりにくかったりした場合には、文法的に正しい形にして／分かりやすいように内容を言い換えて、回答をクラス全体に提示し直している。 (2) 生徒からの回答に対して、「正解かどうか」を示すだけでなく、適切なフィードバックを与えている。
2	(1) 生徒に（口頭で）提示する読解発問の英語、正解を示す際の英語（＝事前に準備できる発話）については、文法的に正確で、語彙選択も適切な英語が用いられている。 (2) 生徒からの回答へその場で対応する場合は、発音・語彙・文法が正確でないこともあるが、意味は十分に通じる英語が用いられている。	(1) 適切な声量及び明瞭な発声で、生徒にとって既習の英語表現や英語文法を用いて、準備した読解発問を提示できている。 (2) 生徒が読解発問の意味を理解できなかったと判断した場合、質問を繰り返して提示している。	生徒からの回答がクラス全体に聞こえにくいと判断した場合、生徒に回答をもう一度言うように指示したり、教師が回答をクラス全体に聞こえるように提示し直したりしている。
1	生徒に（口頭で）提示する読解発問の英語、正解を示す際の英語に深刻な誤り（通じない発音、不適切な語彙選択、明らかな文法的誤りなど）が見られる。	(1) (i) 教師の声量が足りないため質問が聞こえない、(ii) 質問内容があいまいである、(iii) 用いられている英語表現が不必要に複雑であるなどの理由で、生徒が読解発問自体の意味を理解できていない。 (2) 生徒が質問の意味を理解できていないと判断した場合、即座に日本語で言い直している、あるいは何も対応を行っていない。	生徒からの回答がクラス全体に聞こえにくい場合でも、何も対応を行っていない。

